

### 課題・目的

高知県は送電網の脆弱性により系統制約地域が増加し、新規の大規模な発電所の設置は困難であるため、系統連系制約を受けない新エネルギーとして小形風力発電の事業化を支援する

### 【制度概要】

- ・対象者 : 発電事業化の意思のある県内民間事業者
- ・対象経費 : 発電事業化可能性調査に係る経費
- ・補助率 : 1/2以内
- ・条件 : 調査結果の公表等
- ・H29年度予算 : 3,000千円

### H29年度の取組

#### 県内事業者による小形風力発電適地の掘り起こしが行われた

①事業者Aは市町村と連携した自社設備での発電事業化のため、9市町村への訪問による調査や現地調査等を行ったが、発電事業化を前提とした調査を行う候補地掘り起こしに時間を要したため、H29年度中に風況調査の十分な実測期間を確保できなくなりH29年度中の調査事業実施を断念

・H29年度の成果

風況だけでなく地形、風車組み立てのための平地の有無、電線からの距離、アクセス道路の規模等も発電事業性の判断を行う際重要な要素となるなどの知見が得られた

②事業者Bは、顧客への当事業の紹介等を通じて発電事業化ニーズの掘り起こしを行い、実際に顧客が調査事業主体となり3カ所で風況シミュレーションを中心とした補助事業実施に至った

事業主体	場所	風況見込み・地形・立地等
建設会社C	津野町 某所E	◎風況6.3m/s △地形・○電線・○アクセス
建設会社C	津野町 某所F	◎風況6.3m/s ○地形・○電線・○アクセス
建設会社D	香美市 某所	○風況5.3m/s ○地形・○電線・○アクセス

### H30年度の取組予定

【H30当初予算要求額：3,000千円】

- 事業者AはH30年度に2カ所において調査事業実施・発電事業化を希望、発電事業化の際には自社開発の風力発電の導入や、その成果を活用した、風力発電設備の他県での販売を目指している

事業主体	場所	風況見込み・地形・立地等・備考
事業者A	県中部 某所	◎6.9m/s・○地形・△電線・△アクセス
事業者A	県西部 某所	◎7.3m/s・○地形・○電線・△アクセス

#### H30年度補助対象事業

- 次の手順により風況調査等を実施する事業を補助対象とする
- 手順1 風況シミュレーションを行い、一定の風況が見込める場合手順2に進む
  - 手順2 風況の実測及びその他の調査・検討を行う

### 小形風力発電事業化促進の効果

- 系統連系制約を受けない新エネルギーの導入促進
- 県内事業者による発電事業実施（資金の県内での還流が期待できる）
- 新エネルギーの導入に取り組む多様な事業主体の掘り起こしに貢献